

**2013年3月期第2四半期**

# **決算説明会**

**Jトラスト株式会社**

**2012年11月19日**

## 1. 2013年3月期第2四半期 連結決算概要と、 2013年3月期 連結業績見通し

広報・IR部長 篠原 敏男

## 2. 事業成長に向けた取り組みの進捗状況について

- I クレジットカード会員獲得施策の進捗状況と今後の展開
- II 韓国親愛貯蓄銀行の展望とネオラインクレジット貸付の今後の役割について
- III 武富士ブランドを活用した貸付事業の取り組みと債権回収状況について

代表取締役社長 藤澤 信義

## 3. 質疑応答

# 2013年3月期第2四半期 連結決算概要

## 経営基盤強化のための取り組み

### 1. 事業基盤強化のための組織再編の実施

- 2012年4月  
ネクストジャパンホールディングスを株式交換により連結子会社化  
7月に当社に吸収合併
- 2012年6月  
アドアーズ（JQS:4712）を支配力基準により連結子会社化
- 2012年7月  
JTインベストメント（旧ネオラインホールディングス）を株式取得により連結子会社化
- 2012年9月  
ロプロと日本保証を合併し、社名を日本保証へ

### 2. 韓国貯蓄銀行業への参入

- 2012年7月  
韓国第2位の「未来貯蓄銀行」を引き受ける優先交渉権を取得  
親愛を設立後、10月に貯蓄銀行業の認可を取得し貯蓄銀行業へ参入

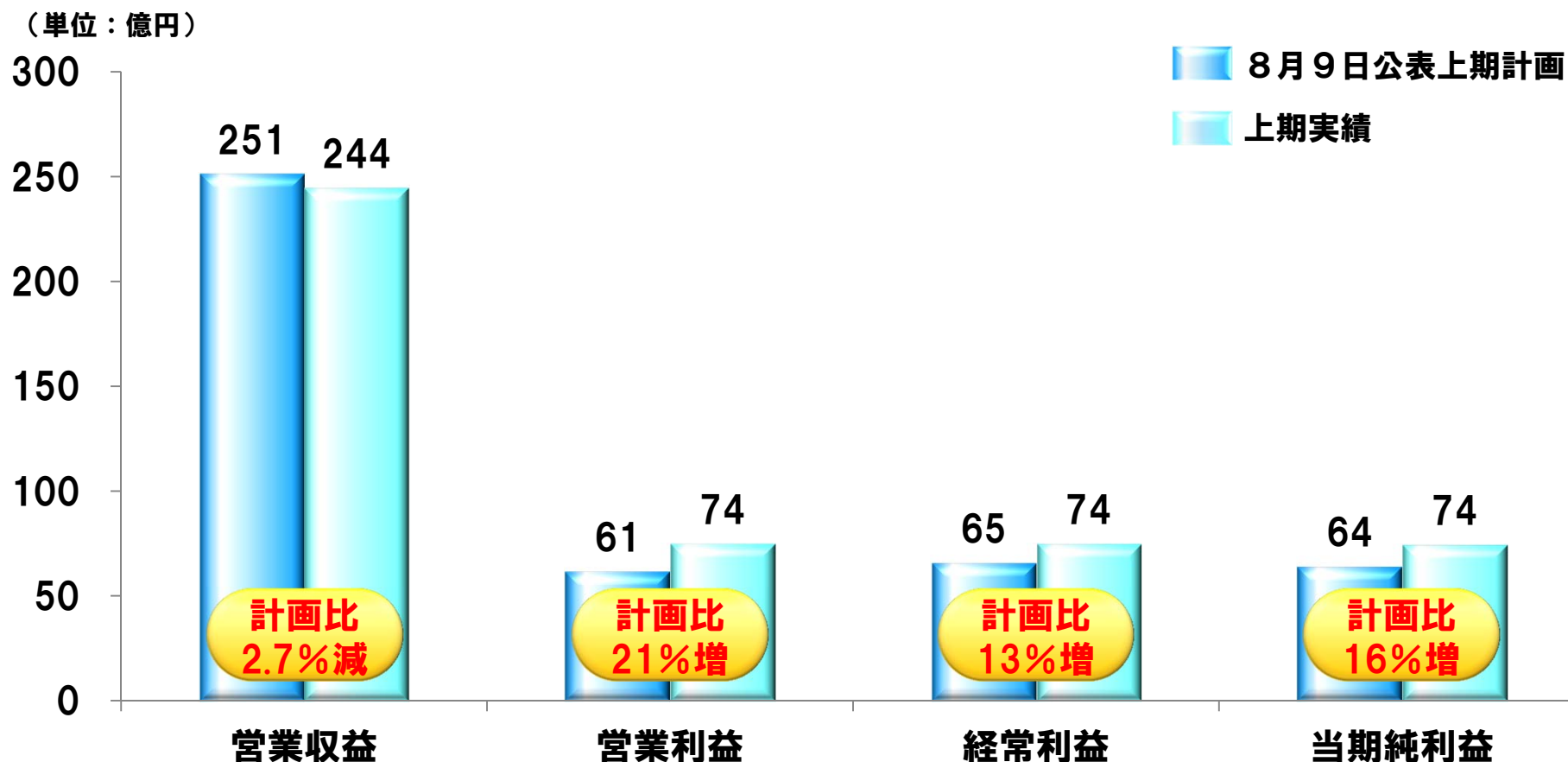
### 3. 保証提携先の拡充

- 2012年9月  
株式会社宮崎太陽銀行との保証業務提携契約を締結

## Point

## 2013年3月期上期実績は計画比で順調に推移

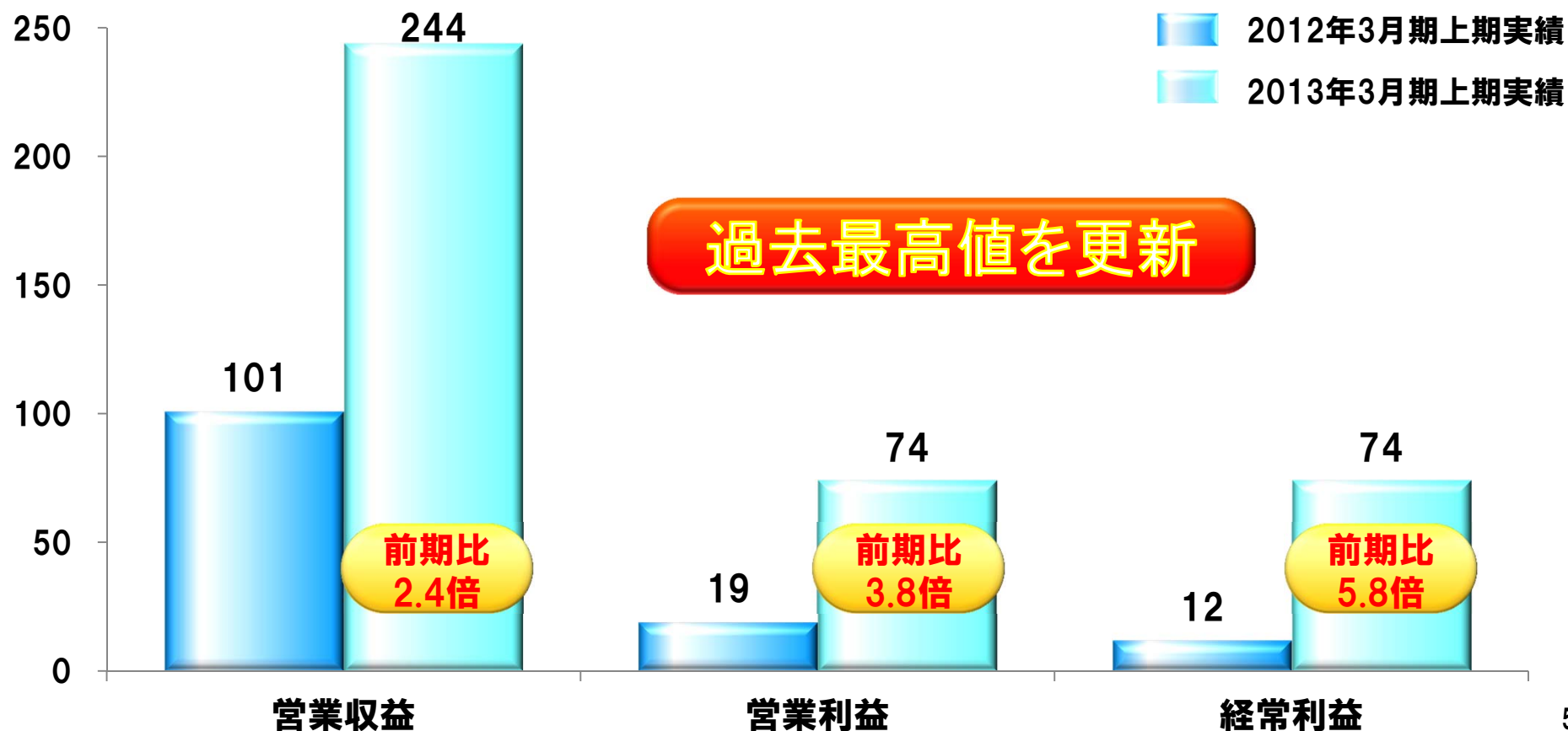
- 営業収益はほぼ計画通りの244億円を達成
- 営業利益 経常利益 当期純利益共に計画を上回る74億円を達成



**Point****営業収益・営業利益・経常利益共に過去最高値を更新**

- KCカードおよび日本保証の武富士債権の収益寄与
- アドアーズ、ブレイクの連結によりアミューズメント事業収入が加算

(単位：億円)

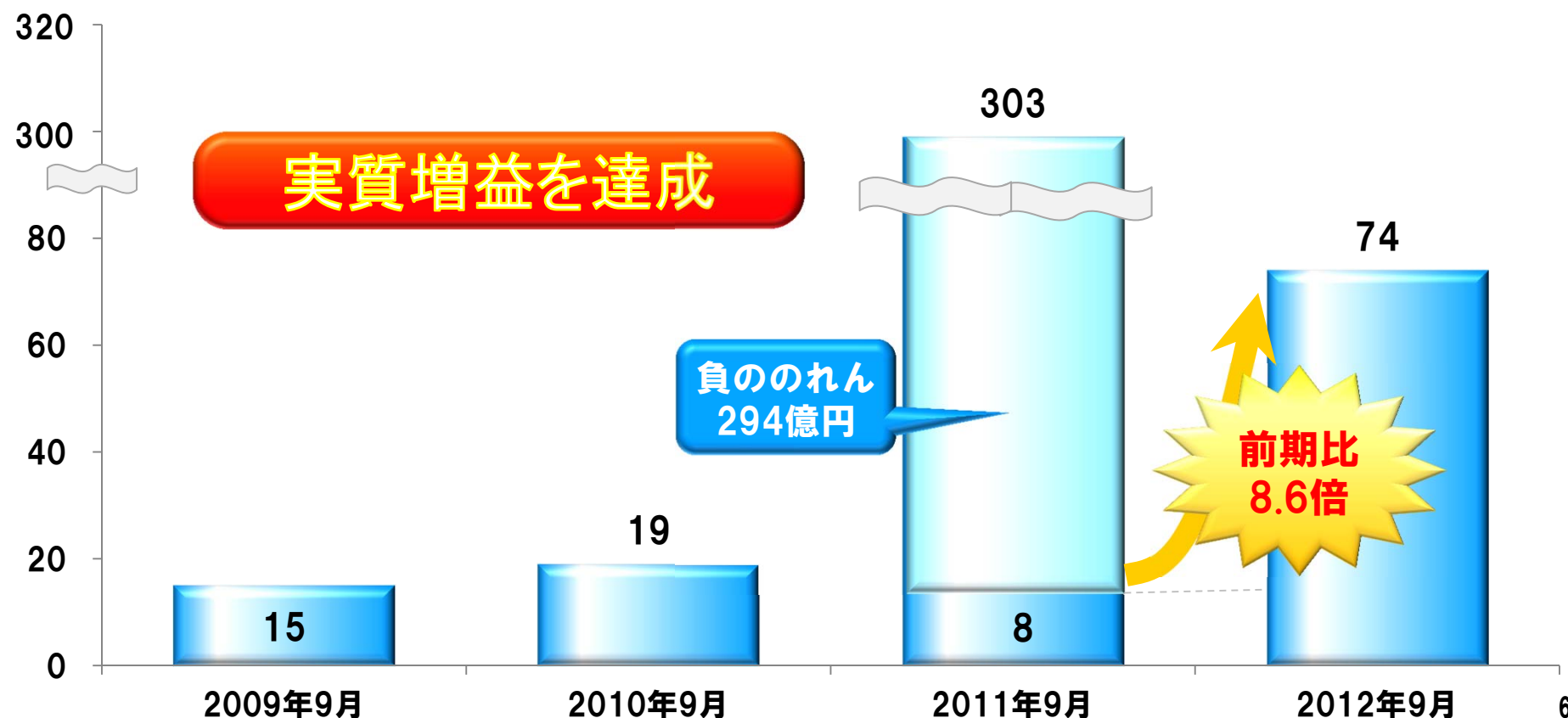


**Point**

前期の負ののれん発生益の影響を除くと実質増益を実現

- 前期8億円の当期純利益に対して、8.6倍の74億円を達成

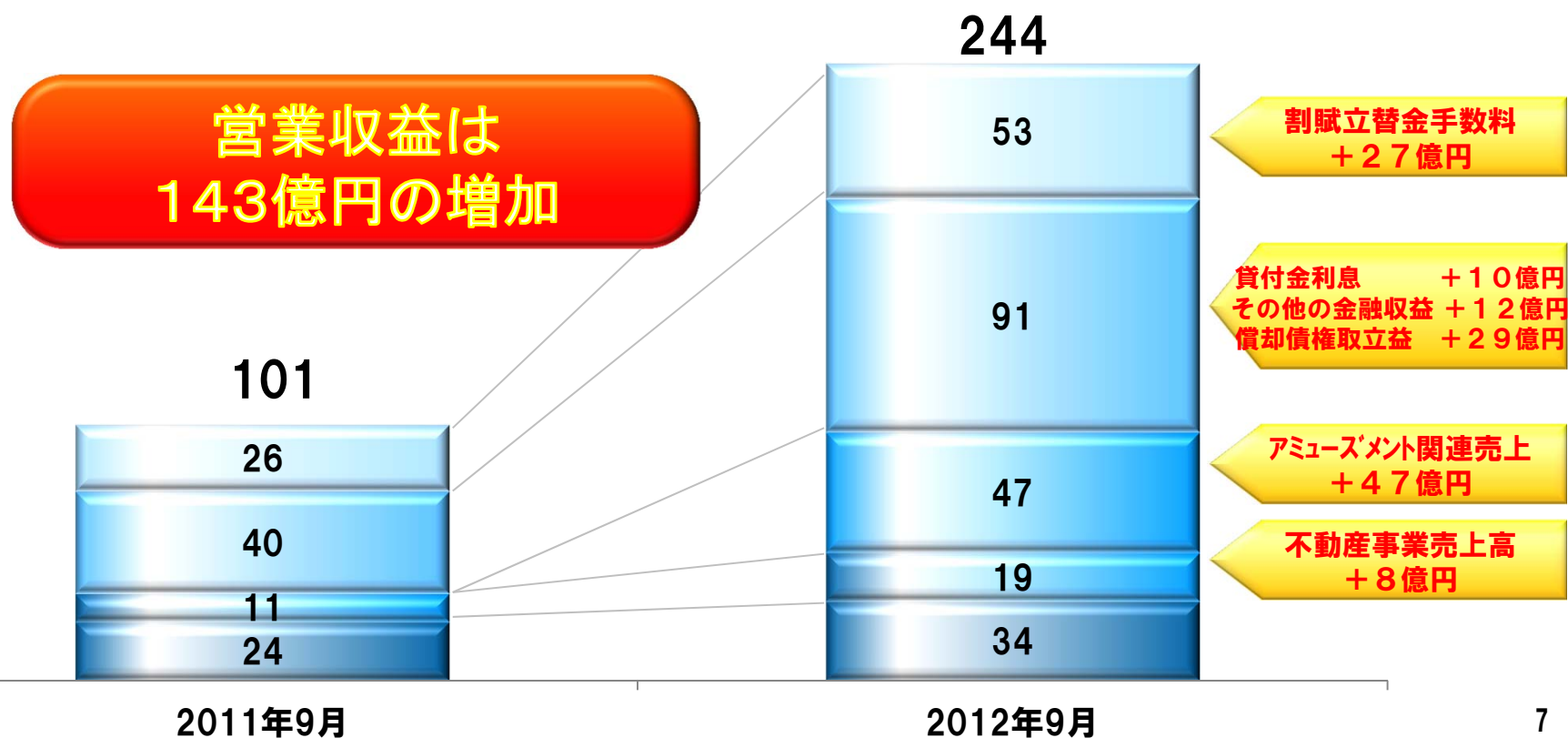
(単位：億円)



**Point**

- 割賦立替手数料はK Cカードが通期寄与で27億円増加
- 武富士の承継により貸付金利息等が51億円増加
- アミューズメント関連売上が新たに47億円寄与

(単位：億円)

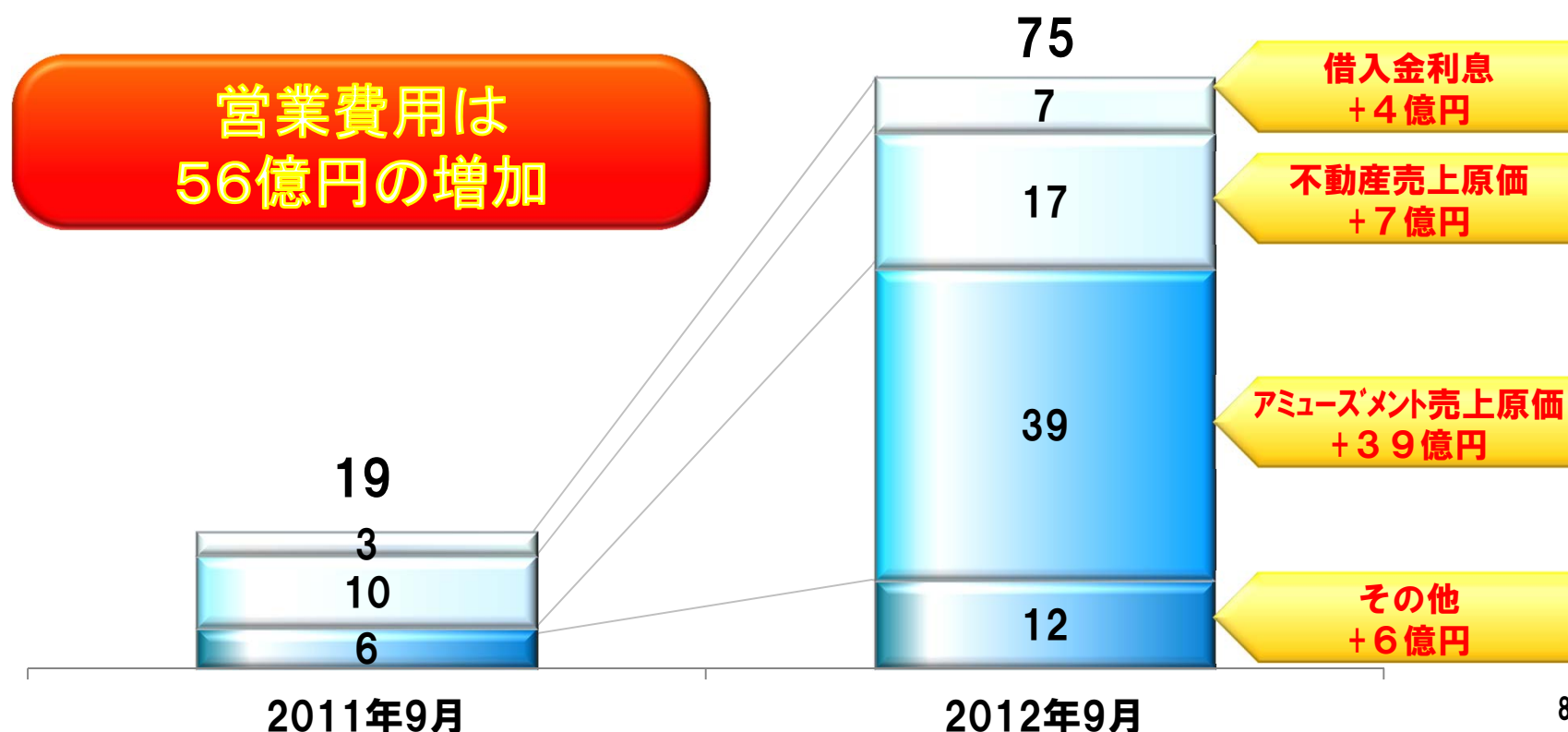




**Point**

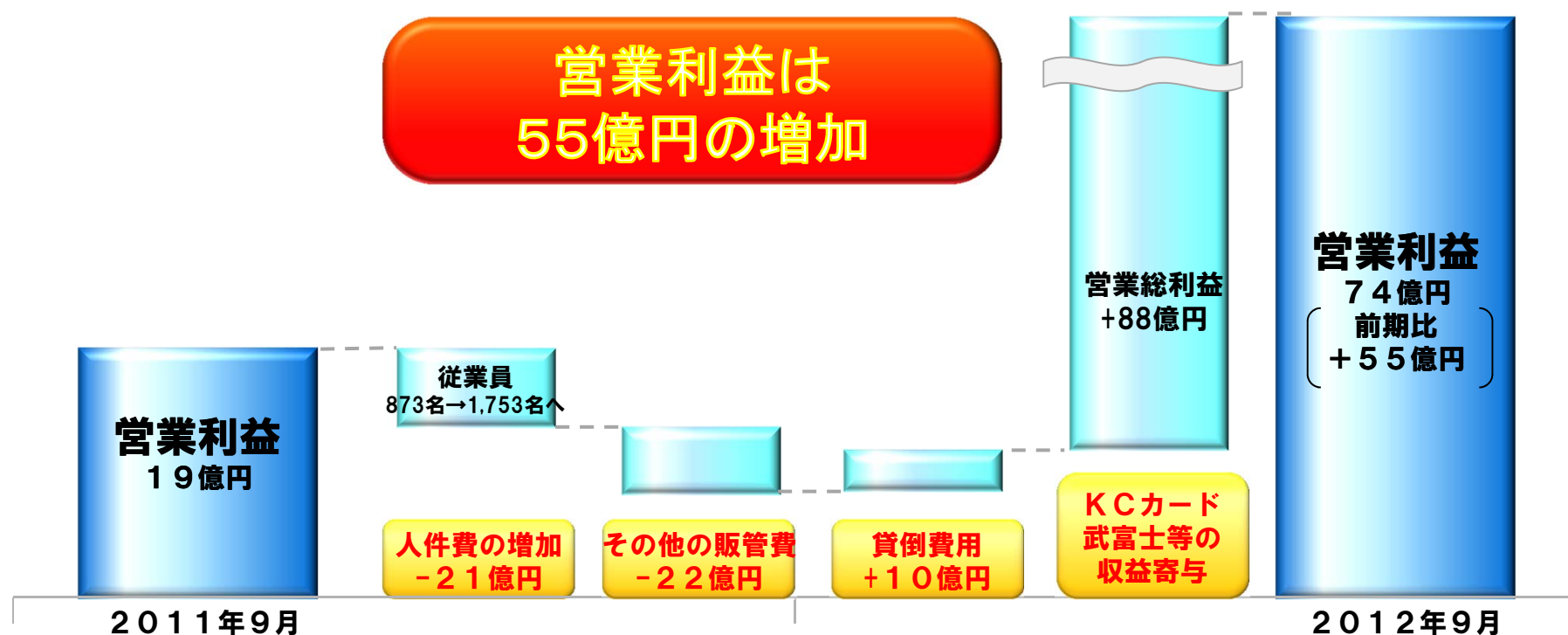
- 借入金利息は借入残高の増加により4億円増加
- 不動産事業売上増加により不動産原価が7億円増加
- アミューズメント事業の連結により売上原価が39億円増加

(単位：億円)



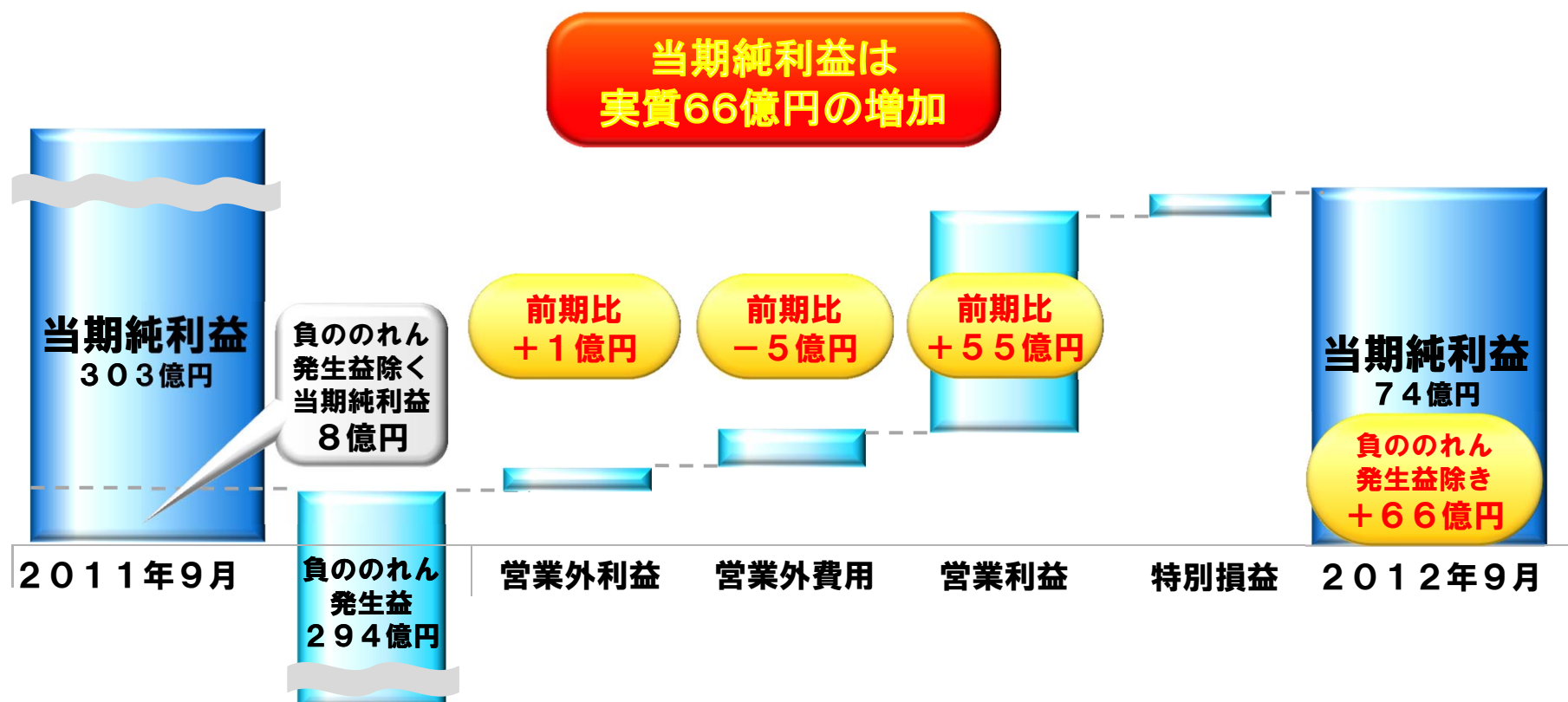
**Point**

- グループ規模拡大にともない人件費が21億円増加
- KCカード、武富士の業容拡大、アミューズメント事業の連結により  
その他販管費が22億円増加
- 貸倒関連費用が10億円減少 営業総利益が88億円増加



## Point

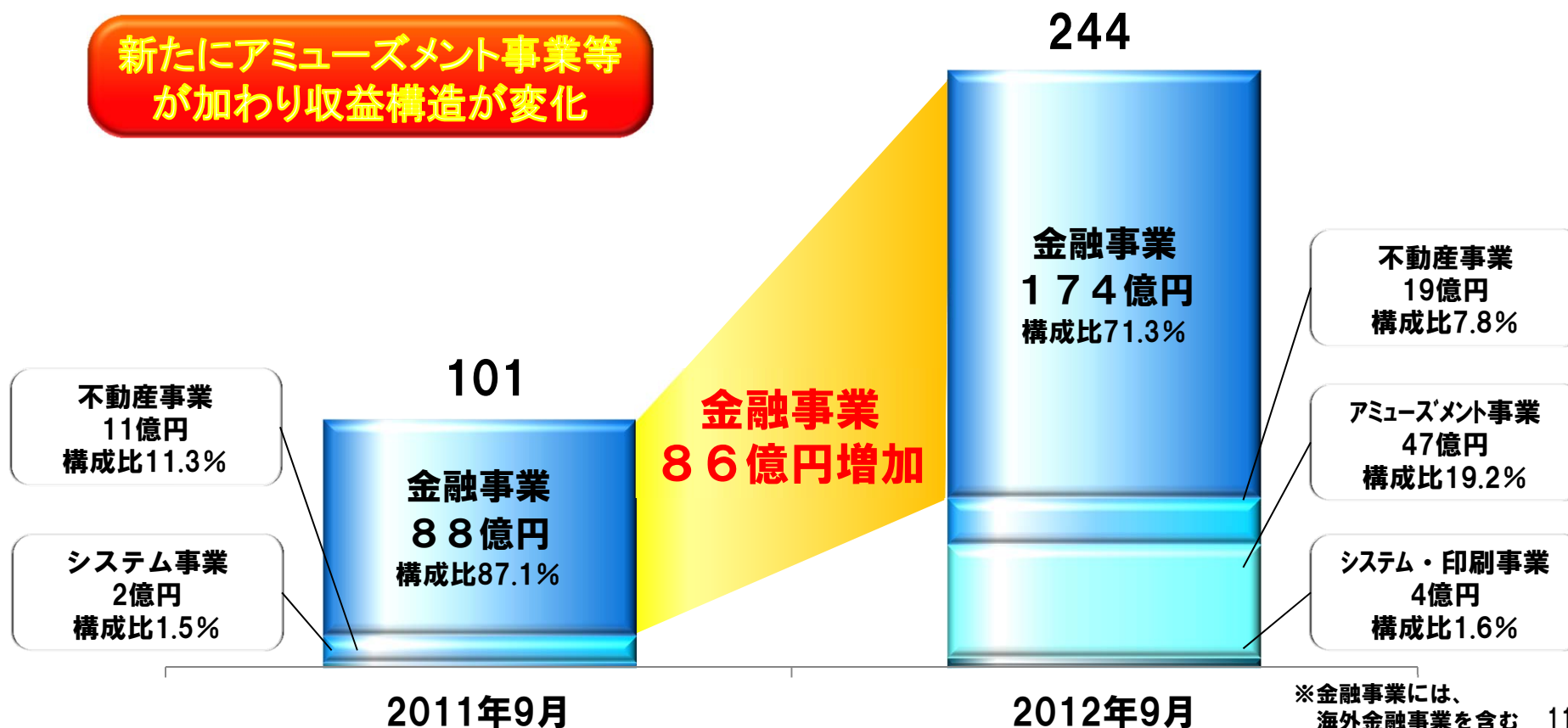
- JTインベストメント等の連結にともない営業外収益が増加
- 韓国のネオランククレジット貸付の為替差損が減少し、経常利益が62億円増加
- 昨年発生した負ののれん発生益の影響により当期純利益は229億円減少



Point

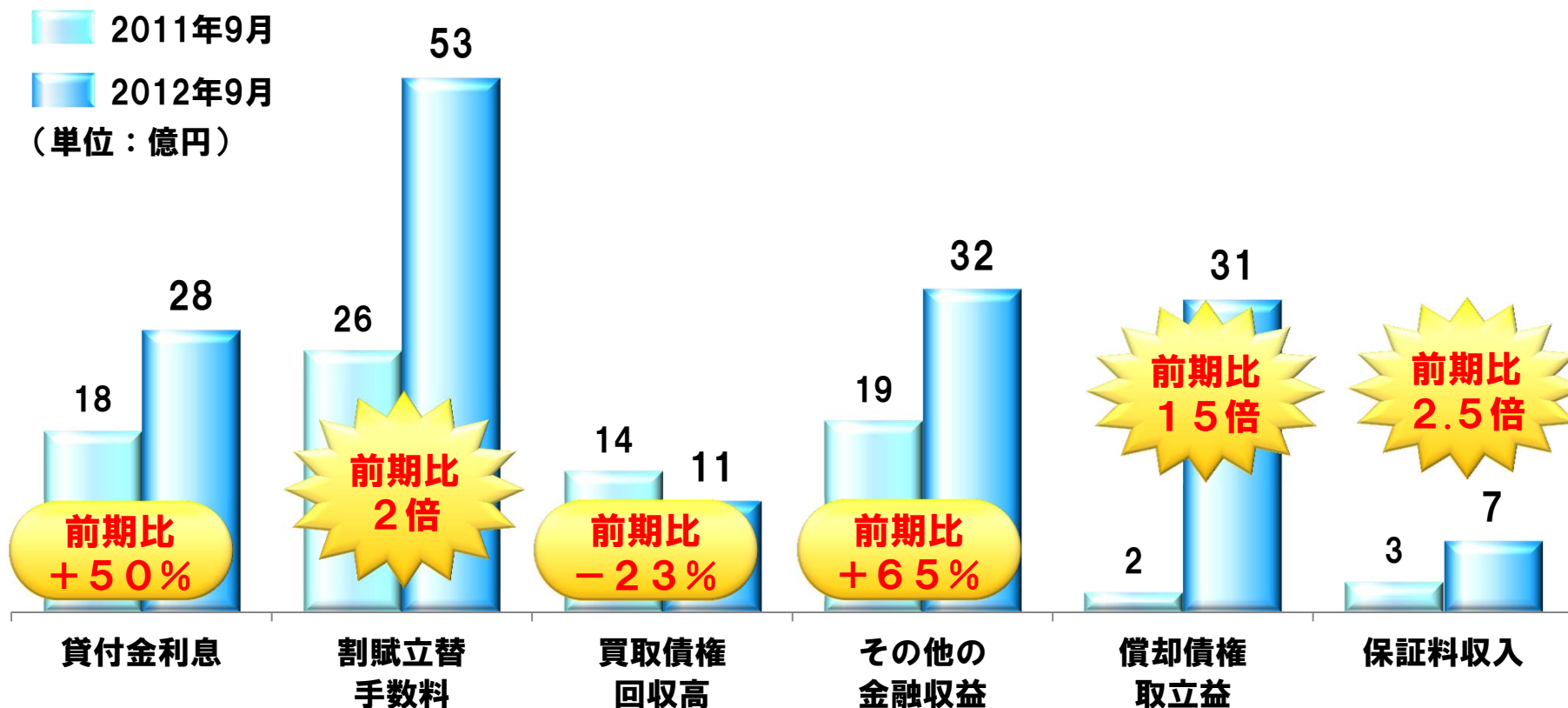
- 金融事業は武富士やK Cカードの収入増加やJ Tインベストメント等の連結により前期比86億円増加
- アミューズメント事業を連結化により構成比は87.1%から71.3%へ

新たにアミューズメント事業等  
が加わり収益構造が変化



Point

- 武富士・K Cカードの寄与により貸付金利息、割賦立替金手数料は大幅に増加
- その他金融収益、償却債権取立益は、武富士債権の承継により大幅に増加
- 信用保証残高の増加により保証料収入も増加



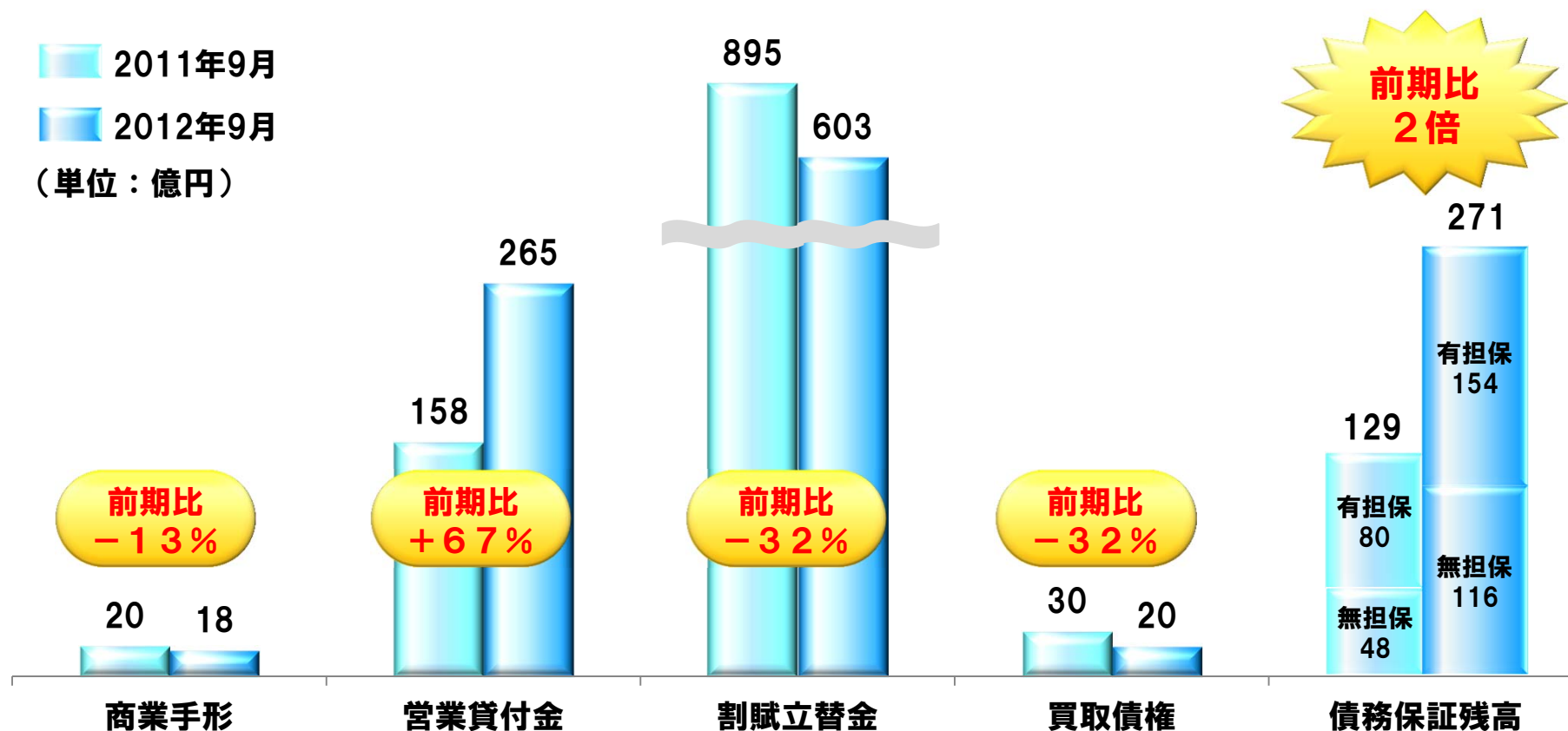
Point

- 営業貸付金は前期の158億円から265億円に増加
- 割賦立替金は保証事業拡大により減少
- 債務保証残高は顧客基盤を活用し271億円に増加

2011年9月

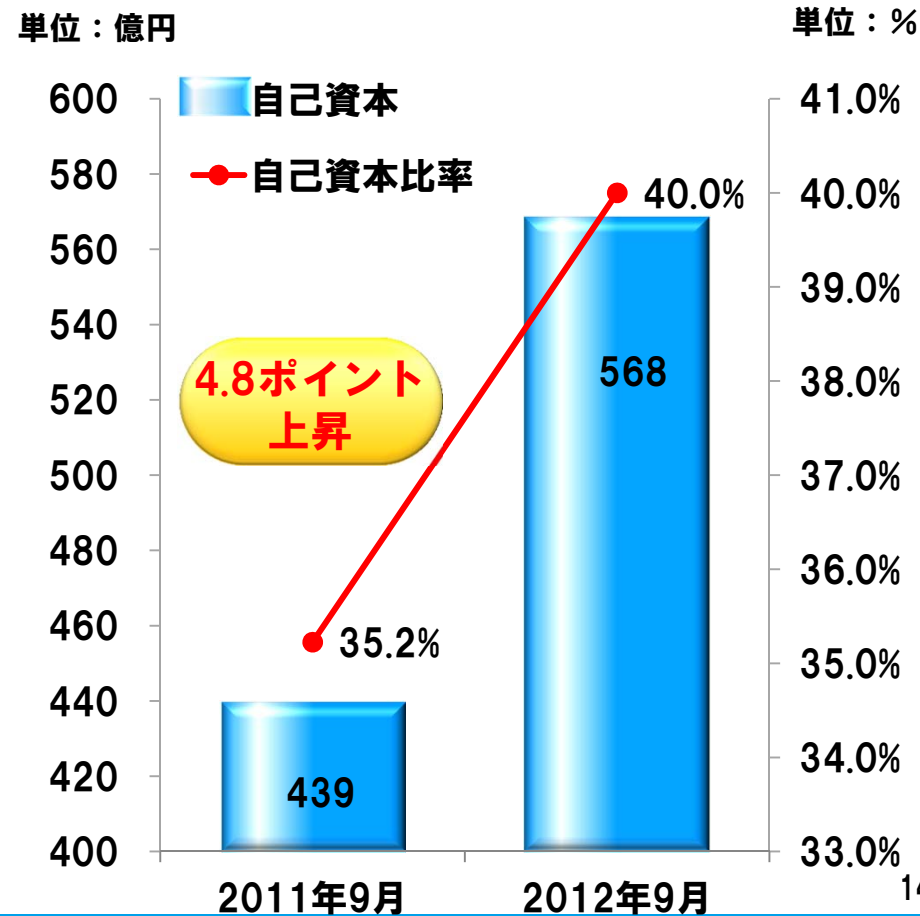
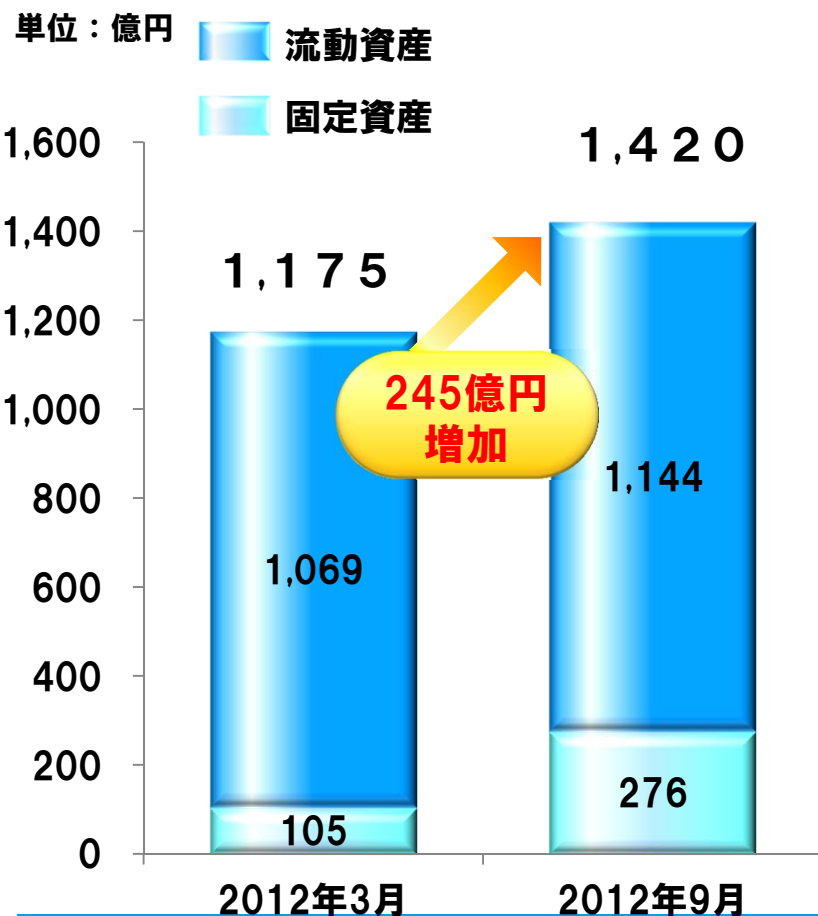
2012年9月

(単位：億円)



## Point

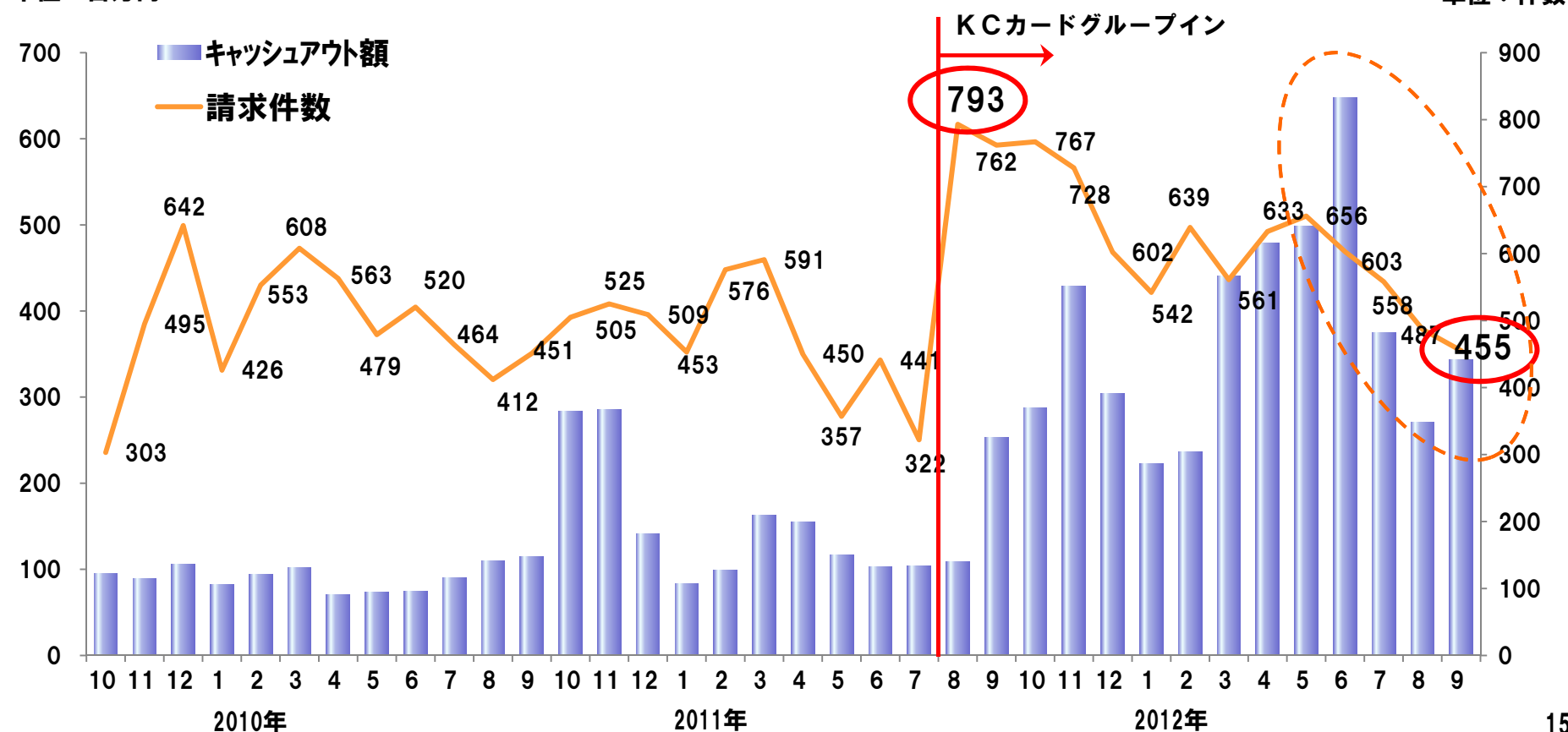
- 総資産は連結子会社増加により前期末の1,175億円から1,420億円へ増加
- 自己資本比率は前年同期比35.2%から40.0%へ上昇



## Point

- 過払い返還請求件数は減少傾向で推移
- 任意和解の推進によりキャッシュアウト額も減少傾向

単位：百万円



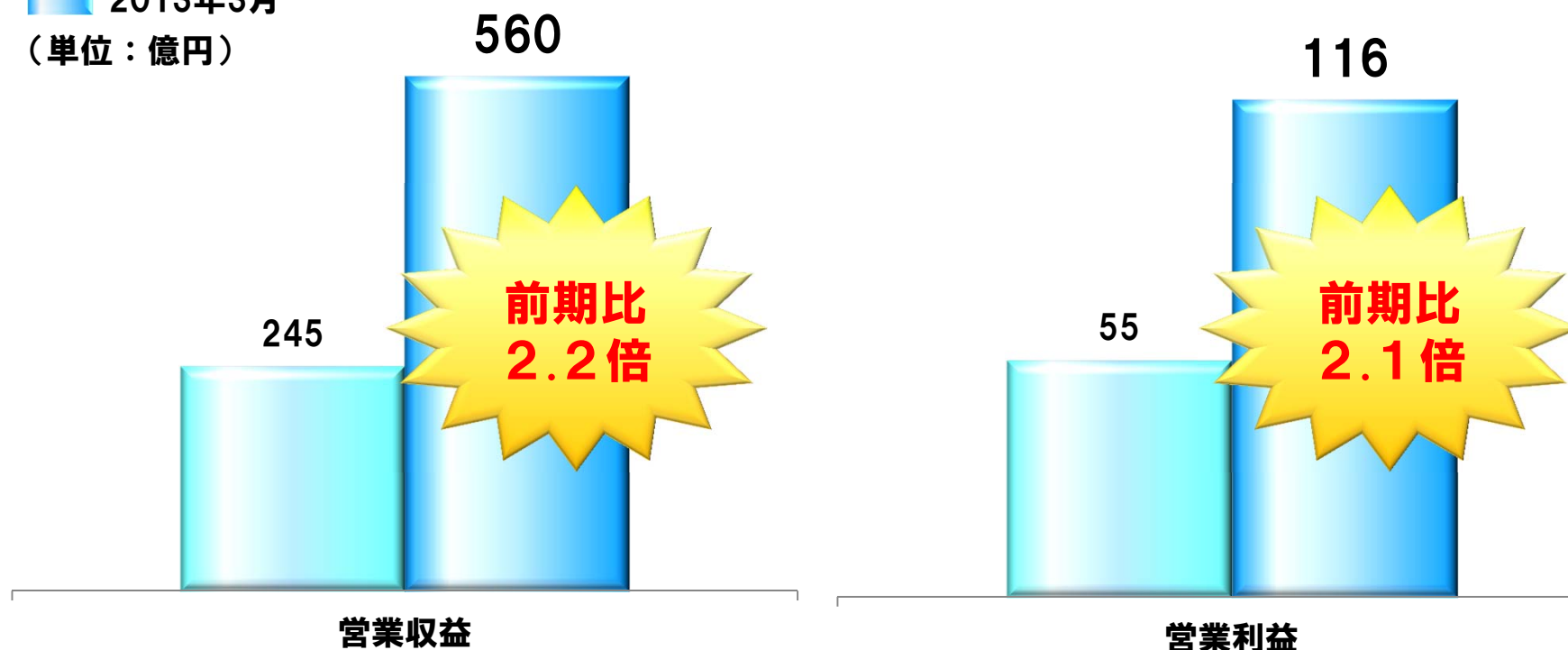


**Point**

- 営業収益は前期比2.2倍の560億円、営業利益は前期比2.1倍の116億円となる見込み
- 6期連続の増収増益を実現見込み

 2012年3月 2013年3月

(単位：億円)

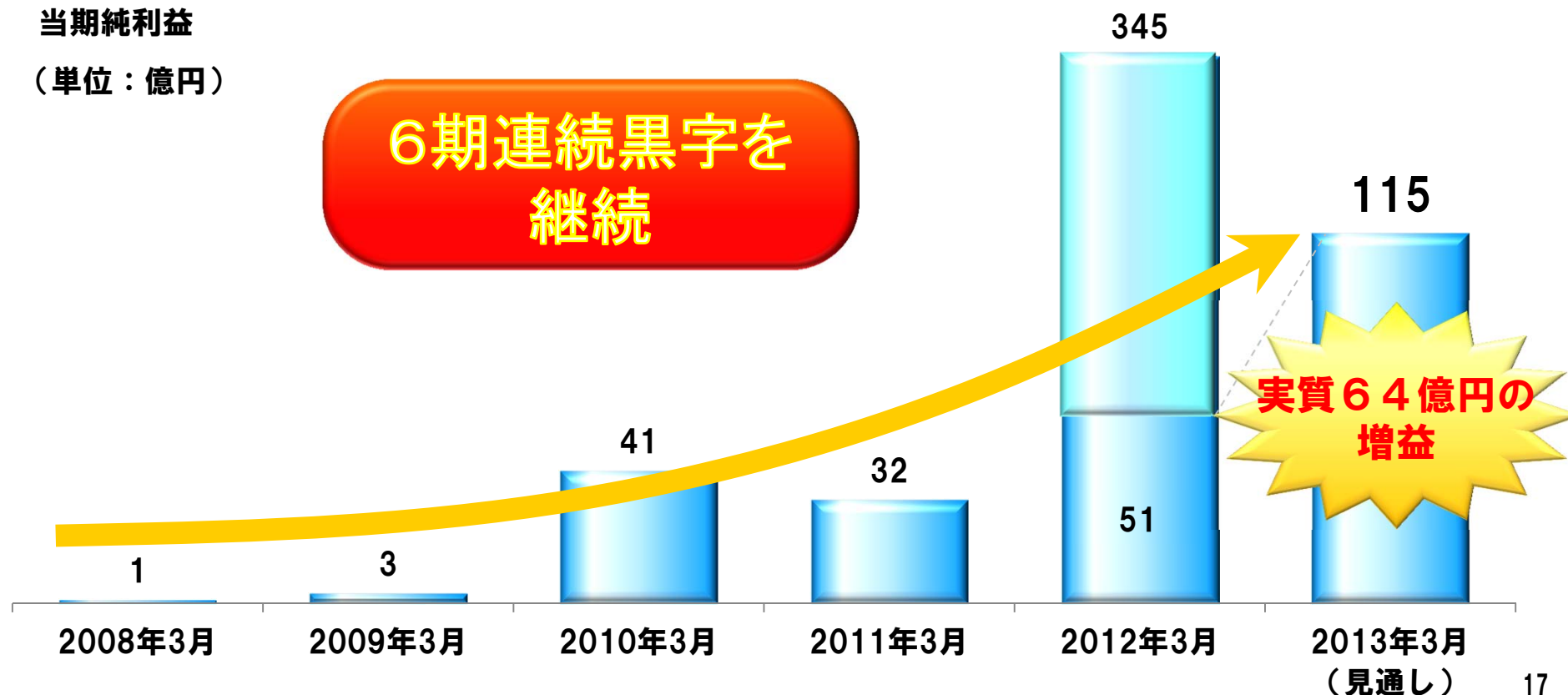
**6期連続増収増益**

Point

- 当期純利益は115億円を達成する見込み
- 負ののれん発生益を除くと実質64億円の増益

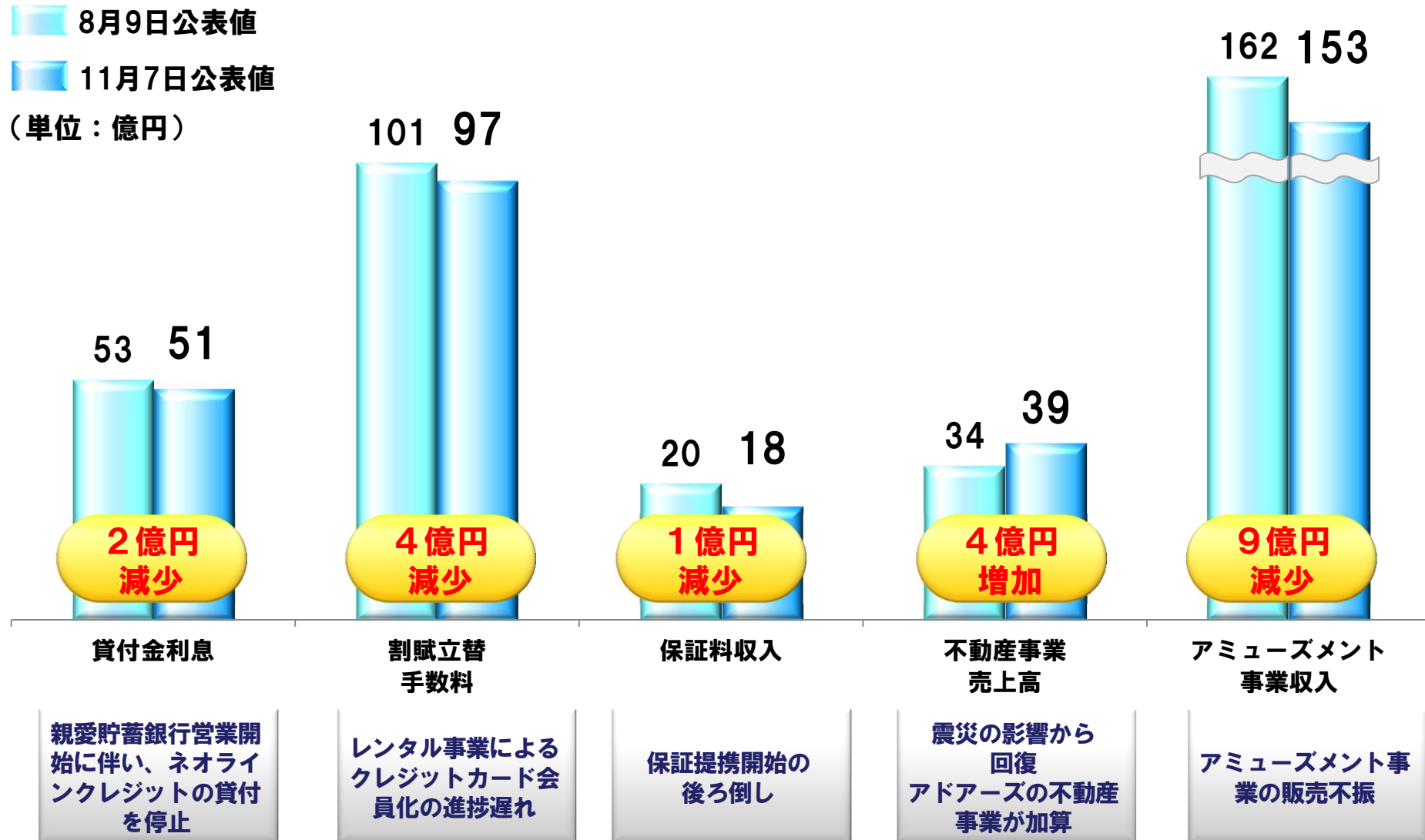
当期純利益

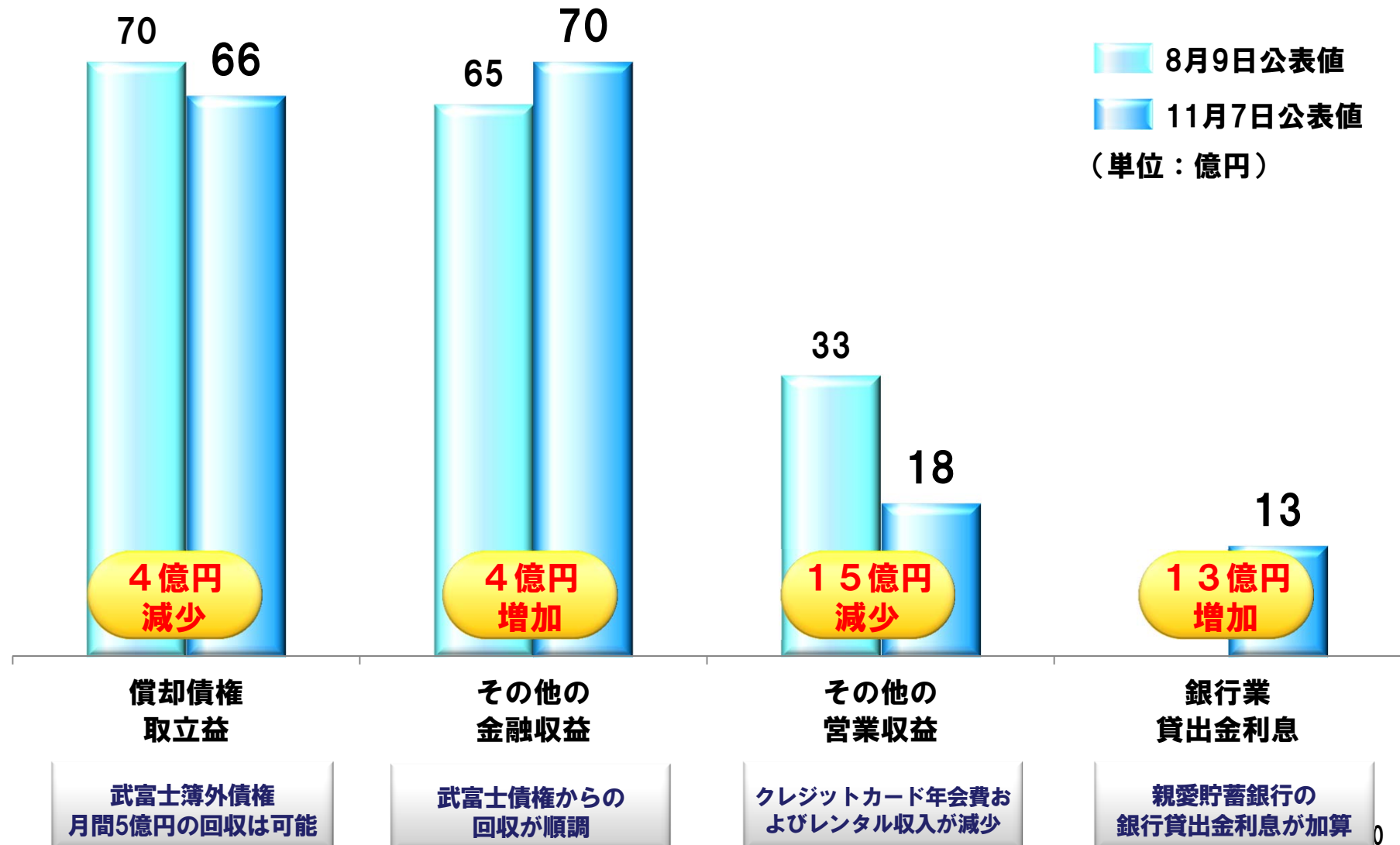
(単位：億円)



## 8月公表値と11月公表値のポイント

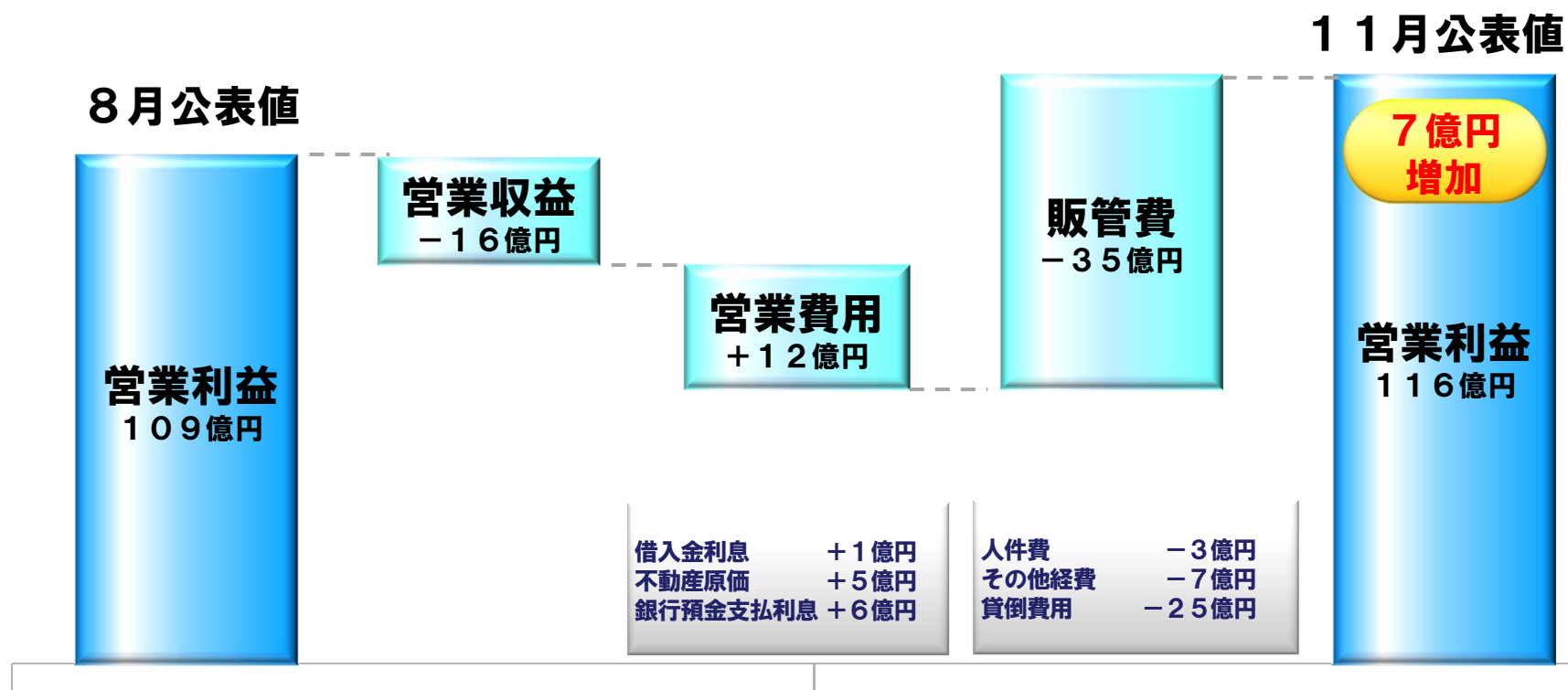
- 営業収益はアミューズメント関連事業およびレンタル事業関連の収入の減少等を要因として560億円へ下方修正
- 営業利益は販管費の減少を要因として116億円へ上方修正
- 当期純利益も115億円へ上方修正





Point

- 営業利益は8月公表値から6.4%増加の116億円を見込む
- 当期純利益は8月公表値から1.1%増加の115億円を見込む



## 事業成長に向けた取り組みの進捗状況について

代表取締役社長 藤澤 信義

- クレジットカード会員獲得施策の進捗状況と今後の展開
- 親愛貯蓄銀行の展望とネオラインクレジット貸付の今後の役割について
- 武富士ブランドを活用した貸付事業への取り組みと債権回収状況について

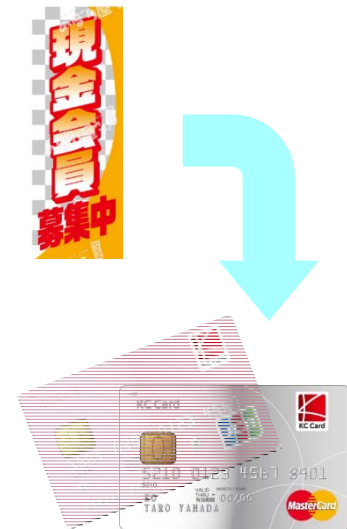


Point

- 現金会員とクレジット会員のツーウェイ方式の入会に変更
- レンタルアドアーズ成増店は10月末で撤退
- 積極的な店舗展開方針を修正



2Way方式





Point

- 楽天時代のノウハウを活かし、ECサイトを立ち上げ会員獲得の基盤を作る
- KCカードオンライン会員および、Ponta会員約4,700万会員にも開放

約4,700万会員   **KC Card** KCカード会員

■Ponta会員向け、KCカード会員向けECサイト

**KC—ECサイト**

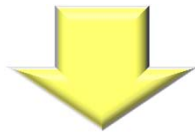
**特典を付与し KCカード会員化を促進**



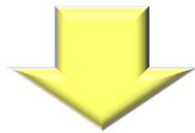
**Point**

- 日本・韓国でのノウハウを活かし、貯蓄銀行業におけるビジネスの成功モデルを作る
- 幅広い資金需要者に対し、できる限り低金利で無担保・有担保ローン等の金融サービスを提供し韓国経済に貢献する

与信審査・債権回収ノウハウを活かし、  
20%台後半の金利設定



ミドルリスク層をはじめとして  
幅広い層の取り込み



韓国における資金供給機関としての  
地位確立

 親愛貯蓄銀行



親愛貯蓄銀行 オープニングセレモニー

Point

- 武富士ブランドを活用した広告展開で営業貸付金残高を維持  
10月13日よりTVCM放映開始
- 武富士債権からの回収は順調に推移、今後も収益に貢献する見込み



武富士TVCM キャプチャ



武富士ダンスプロジェクト HP

## － 免 責 事 項 －

**本資料に記載されている、業績見通し、戦略、見解などのうち、過去の実績や歴史的事実でないものは、経営者が現在入手可能な情報から判断した仮定や見解に基づく将来の見通しであり、リスクや不確実性を含んでいます。特に、経済動向や事業環境、法律の変更や為替の変動などには、潜在的なリスクや不確実性を含んでいます。**